

# 広川町立図書館へ行こう！

☎ 広川町立図書館 ☎ 0943-32-1163



## ■ 今月のおすすめの本



とてつもない失敗の世界史  
トム・フィリップス / 著  
河出書房新社



食べられる虫ハンドブック  
内山昭一 / 監修  
自由国民社



髪型を変えれば若返る！  
シニアビューティヘア  
テルイタカヒロ / 著  
講談社



絶望の林業  
田中淳夫 / 著  
新泉社



ウチら棺桶まで  
永遠のランウェイ  
kemio / 著  
KADOKAWA



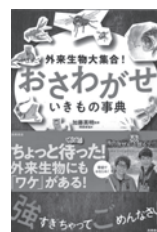
あとと切手を一枚貼るだけ  
小川洋子 / 著  
中央公論新社



わたしは女の子だから  
ローズマリー・マカーニー / 文  
西村書店東京出版編集部



ぼくにはあながある  
まるやまなお / 著  
文芸社



外来生物大集合！  
おさわがせいきもの事典  
加藤英明 / 監修  
高橋書店



よるのまんなか  
おくはらゆめ / 作  
理論社

## ■ 図書館冬まつり 2019

お話しボランティアによる読み聞かせや手遊びなど。小学生以下のお子さんにはプレゼントがあります。  
【日時】12月21日(土)、14:00～〔予定〕  
【場所】町民交流センター「いこっと」1階ロビー

## ■ 年末年始の貸し出し期間

12月29日(日)～1月3日(金)の年末年始の休館に伴い、12月15日(日)～28日(土)は1人20点まで(CD・DVDは10点、雑誌は10点以内)、3週間借りることができます。休館中の本の返却は、ブックポストをご利用ください。

※ CD・DVDのブックポストへの返却不可。開館時に返却ください。

## ■ おはなし会 [場所・読み手]

- 7日(土) 10:30～11:00 児童向け [お話しの森・きらら]
- 15日(日) 10:30～11:00 児童向け [お話しの森・たまてばこ]
- 18日(水) 11:00～11:30 乳幼児向け「かっちゃんこ」 [ハグハグ・絵本コンシェルジュ]

## 町立図書館ここがすごい！

### vol.3 児童用百科事典が借りられる

「やっぱり図書館へ行こう」と隔月で町立図書館の良さをお伝えします



子どもから身の回りのことを尋ねられたり、「〇〇について調べたい」と言われたりして困った経験はありませんか？

図書館では学研、小学館、ポプラディアの子ども向け百科事典を借りることができます。さらに詳しく調べたいときは、司書にお尋ねください。最適な本をご紹介します。

広川町立図書館は、子どもの知識欲にこたえられる図書館なのです。

## ■ 12月の休館日

- 2日(月)・5日(木)・9日(月)・16日(月)・23日(月)・29日(日)・30日(休)・31日(休)
- 毎週(月)、第1(木)が休館です。(月)が祝祭日の場合、翌日以降の直近の平日が休館です。

# もっと知りたい！ 広川町商工会 & 広川町観光協会

広川町を中心に活躍する広川町商工会と広川町観光協会の事業所を紹介していきます。今月号は「合同会社いなかず商店」と「株式会社鹿田産業」です。



## 03 合同会社いなかず商店

広川町大字太田 1229-1

☎ 0943-32-0054

http://go-inakazu.com

【従業員】3人

【設立】1948年

【商品】木箱、木樽、木桶、その他木製包装資材



代表社員  
稲員信幸

太田地区で昭和23年に開業、平成27年に法人化しました。薄い木の板を使った折箱の製造から、小樽を中心とした食品用木箱製品の製造へ変更し、現在は贈答用明太子の包装材など、八女杉の間伐材を使った木樽製造をメインとしています。

### おかげさまで70周年

自社工場で裁断から組立まで行っているため、仕様、サイズ、個数などご要望に合わせて提供できます。お気軽にご相談ください。



### 接着剤不使用小樽の開発と販路拡大

新たなチャレンジ！

独自の設備を開発することで、高い品質を維持したまま、接着剤不使用小樽の量産化に成功しました。他社製品より表面がなめらかで、組み立て時に狂いがなく密着度が高いと、品質が高く評価されています。

近年、脱プラスチックが叫ばれていることもあり、多くの食品業界から関心が寄せられています。今後はさらに量産化体制を構築するため、製造工程の整備、簡素化、改良に着手し、製品の品質向上を目指していきます。

## 04 株式会社鹿田産業

広川町大字太田 428

☎ 0943-32-1141

https://shikada.co.jp

【従業員】28人

【設立】1967年3月10日

【商品】八女すだれ、藤製品、カーペットなど



代表取締役社長  
鹿田和正



2年前開業したレストラン「シェフナオコ」のすだれ施工例（アメリカポートランド）

福岡県知事指定特産民芸品 八女すだれを、大正元年から製造しています。設立時に「鹿田製簾所」から「鹿田産業」へ社名を変更し、輸入事業を開始。藤製品やムートン製品を輸入し、全国の百貨店や通販事業者へ販売してきました。

### パリの展示会へ出展

来年1月、フランスのパリで開催されるインテリア展示会「メゾン・エ・オブジェ」へ出展します。

今後は「鹿田室礼」ブランドを掲げ、地域の工芸品と協業しながら、国内外のホテルや飲食店など観光施設のインテリア商材を開発していきます。

### 天然素材の心地よさを世界のすみずみへ

新たなチャレンジ！

昨年、西鉄の観光列車「ザ・レール・キッチンクゴ」の天井装飾材として、藍胎漆器職人が作った竹編み材を納入しました。来年4月には、隈研吾都市建築設計事務所の指定を受け、日本初上陸の世界の5つ星ホテル 京都「エースホテル」に竹すだれを施工します。

また、国の「JAPAN ブランド育成支援事業」を活用し、欧州への海外展開を目指しています。これらの取り組みが評価され、経済産業省から「地域未来牽引企業」に選定されました。